

# 高校生活支援カードの作成と活用マニュアル

## 高校生活支援カードについて

**目的：** 高校生活支援カードは、高校生活に不安を感じている生徒や理解されにくい障がいである発達障がいのある生徒、またはその特性のある生徒等の状況やニーズを入学時に把握し、指導・支援のスタートとすることを目的にします。高校生活支援カードの作成が、個別の教育支援計画の作成のはじまりとなり、カードの内容をもとにして、個別の教育支援計画の記載をすることができます。

**様式：** 学校の状況に応じて、A4版とA3版のどちらかの様式を選択します。

**時期：** 入学時の合格者説明会等で高校生活支援カードを配付し、入学手続き時等に回収します。

**対象：** 全ての入学者を対象とします。

(ただし、生徒の状況により個別に聞き取り等が必要な場合は、別途対応することも可能です。)

**記入者：** 保護者、本人

**管理：** 学級担任等

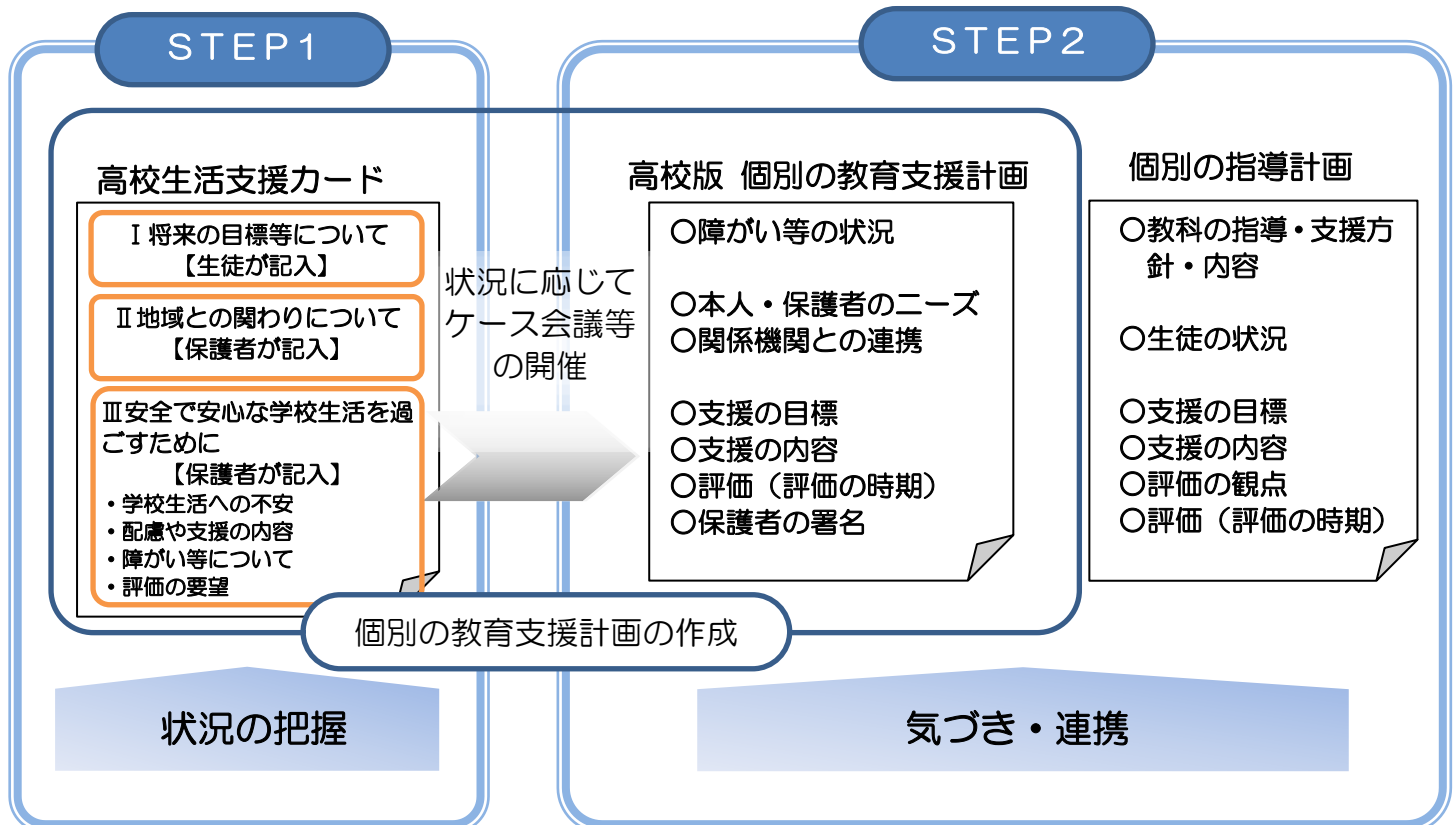
**活用：** 中学校訪問、保護者面談、ケース会議、教育相談、学年会議、学習支援、事象等対応、進路指導(障がい受容等)個別の教育支援計画作成等

**参考書籍：**

- ・高校で学ぶ発達障がいのある生徒のための明日からの支援に向けて
- ・高校で学ぶ発達障がいのある生徒のための共感からはじまる「わかる」授業づくり
- ・高校で学ぶ発達障がいのある生徒のための社会参画をみすえた自己理解

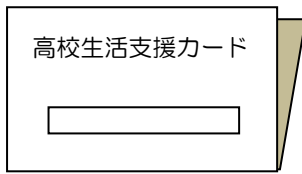
### <高等学校学習指導要領一部抜粋>

障害のある生徒などについては、各教科・科目等の選択、その内容の取扱いなどについて必要な配慮を行うとともに、特別支援学校等の助言又は援助を活用しつつ、例えば指導についての計画又は家庭や医療、福祉、労働等の業務を行う関係機関と連携した支援のための計画を個別に作成することなどにより、個々の生徒の障害の状態等に応じた指導内容や指導方法の工夫を計画的、組織的に行うこと。



A4版 高校生活支援カード

A4版 高校生活支援カードは、A4用紙裏表1枚で構成されています。A3版と比べて自由記述のスペースが小さくなっていますが、記載内容は同様です。中央で二つ折りにして回収します。



**大阪府立高等学校  
高校生活支援カード**  
大阪府立〇〇高等学校

生徒名

高校では、これまでとちがった環境での学びがスタートします。新しい出会いやしめがけを経験する授業など期待が膨らむ一方で、高校生活に不安を感じることもあります。このカードは、高校が、これまでの学びや得意科目を継ぎ、すべての生徒にとって、安全で安心な学校づくりをすすめるために作成します。作成したカードは、教育相談、生徒指導、進路指導、支援委員会などで生徒の指導・支援の充実に向けて活用します。また、必要に応じて個別的教育支援計画の作成につながります。

※ 二つ折りのまま回収します。  
※ 内側に名前を記入してください。

表面

**高校生活支援カード**

1年 2年 3年 4年

生徒名  出身中学校

保護者名  記載日 年 月 日

1 授業の目標等について（生徒本人が記入してください）※書きやすいようにマークしてください。  
1 人の関わり方・働き方について（生徒本人が記入してください）  
2 人の関わり方・働き方について（生徒本人が記入してください）  
3 人の関わり方・働き方について（生徒本人が記入してください）  
4 人の関わり方・働き方について（生徒本人が記入してください）

2 自分自身と目標達成の進捗について、次の3つの中から1つ選んでください。  
□先生の話をきちんと聞く力 □課題や出席等をやめられる力 □得意な科目、企業・職業を学ぶ力  
□学習 □読書 □友達 □その他

3 卒業後の進路について、希望する進路を選んでください。  
□進学 □就職 □進学 □その他

4 地域との関わりについて（保護者の方が記入してください）※書きやすいようにマークしてください。  
1 中学校時代の地域等との関わりについて（複数回答可）  
□教育現場（地域のスポーツクラブや学習塾等） □公民館  
□図書館（子どもや地域の活動等） □公民館  
□福祉施設（地域の福祉施設やボランティア団体等） □公民館  
□高齢者施設（かかりつけの医療機関等） □公民館

5 安全で安心な高校生活を過ごすために（保護者の方が記入してください）  
1 高校生活で不安を感じる事（複数回答可）  
□成績 □進路 □卒業 □進路 □友人関係 □コミュニケーション □いじめ  
□学習 □読書 □読書 □読書 □読書 □読書 □読書 □読書 □読書 □読書  
□その他

2 これまでの学校生活で、不安に感じたりや学びにくくなるような出来事はありましたか。  
□はい □いいえ

3 入学後、スクールカウンセラーによるカウンセリングを希望しますか。  
□はい □いいえ

4 学校生活前でも進路を希望することがありますか。  
□はい □いいえ

5 学校生活前でも進路を希望することがありますか。  
□はい □いいえ

6 学校生活前でも進路を希望することがありますか。  
□はい □いいえ

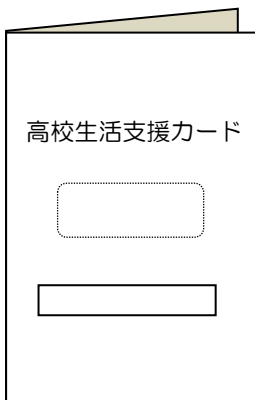
7 本人が得意な事（自慢できる事）や評価してほしいことについて書いてください。

裏面

A3版 高校生活支援カード

A3版 高校生活支援カードは、A3用紙裏表1枚で構成されています。A4版と記載内容は同様ですが、自由記述のスペースを大きくし、行間にゆとりをもたせております。

配付時も回収時も、二つ折り（A4サイズ）にします。



**大阪府立高等学校  
高校生活支援カード**  
大阪府立〇〇高等学校

生徒名

高校では、これまでとちがった環境での学びがスタートします。新しい出会いやしめがけを経験する授業など期待が膨らむ一方で、高校生活に不安を感じることもあります。このカードは、高校が、これまでの学びや得意科目を継ぎ、すべての生徒にとって、安全で安心な学校づくりをすすめるために作成します。作成したカードは、教育相談、生徒指導、進路指導、支援委員会などで生徒の指導・支援の充実に向けて活用します。また、必要に応じて個別的教育支援計画の作成につながります。

※ 二つ折りのまま回収します。  
※ 内側に名前を記入してください。

表面

生徒名  クラス

出身中学校

保護者名

記載日 年 月 日

1 授業の目標等について（生徒本人が記入してください）※書きやすいようにマークしてください。  
1 人の関わり方・働き方について  
2 人の関わり方・働き方について  
3 人の関わり方・働き方について  
4 人の関わり方・働き方について

2 自分自身と目標達成の進捗について、次の3つの中から1つ選んでください。  
□先生の話をきちんと聞く力 □課題や出席等をやめられる力 □得意な科目、企業・職業を学ぶ力  
□学習 □読書 □読書 □読書 □読書 □読書 □読書 □読書 □読書  
□その他

3 卒業後の進路について、希望する進路を選んでください。  
□進学 □就職 □進学 □その他

4 地域との関わりについて（保護者の方が記入してください）  
1 中学校時代の地域等との関わりについて（複数回答可）  
□教育現場（地域のスポーツクラブや学習塾等） □公民館  
□図書館（子どもや地域の活動等） □公民館  
□福祉施設（地域の福祉施設やボランティア団体等） □公民館  
□高齢者施設（かかりつけの医療機関等） □公民館

5 安全で安心な高校生活を過ごすために（保護者の方が記入してください）  
1 高校生活で不安を感じる事（複数回答可）  
□成績 □進路 □卒業 □進路 □友人関係 □コミュニケーション □いじめ  
□学習 □読書 □読書 □読書 □読書 □読書 □読書 □読書 □読書  
□その他

2 これまでの学校生活で、不安に感じたりや学びにくくなるような出来事はありましたか。  
□はい □いいえ

3 入学後、スクールカウンセラーによるカウンセリングを希望しますか。  
□はい □いいえ

4 学校生活前でも進路を希望することがありますか。  
□はい □いいえ

5 学校生活前でも進路を希望することがありますか。  
□はい □いいえ

6 学校生活前でも進路を希望することがありますか。  
□はい □いいえ

7 本人が得意な事（自慢できる事）や評価してほしいことについて書いてください。

裏面

高校生活支援カードの内容は、学校の状況に応じて、質問の文言の変更（内容が変わらない範囲で）、選択肢の変更、ルビうち、レイアウトの変更、質問項目の追加が可能です。なお、高校版 個別の教育支援計画作成に必要な項目（Ⅰ 2、3、Ⅱ 1、Ⅲ 1、4、5、6、7）以外の項目については、削除あるいは学校が独自に作成した別の項目に変更可能とします。

A 4版 高校生活支援カード 表面

大阪府立高等学校  
高校生活支援カード

大阪府立〇〇高等学校

生徒名	
-----	--

学校の状況により文章  
を変更することは可能

高校では、これまでとちがった環境での学びがスタートします。新しい出会い  
やはじめて経験する授業など期待が膨らむ一方で、高校生活に不安を感じるこ  
ともあります。このカードは、高校が、これまでの生徒の学びや育ちを引継ぎ、す  
べての生徒にとって、安全で安心な学校づくりをすすめるために作成します。

作成したカードは、教育相談、生徒指導、進路指導、支援委員会などで生徒の  
指導・支援の充実に向けて活用します。また、必要に応じて個別の教育支援計画  
の作成につなげていきます。

※ 二つ折りのまま回収します。

※ 内側にも名前を記入してください。

高校生活支援カード

1年組 2年組 3年組

生徒名 \_\_\_\_\_ 出身中学校 \_\_\_\_\_  
 保護者名 \_\_\_\_\_ 記載日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

I 将来の目標等について（生徒本人が記入してください）\*該当する口に✓をつけてください。  
 1 人との関わり方・働き方について（生徒本人が記入してください）  
 次のAとBのうち、大切にしたい方の数字に○をつけましょう。どちらか  
 せん。自分の気持ちに正直に選択してください。  
 【人との関わり方】

本人のニーズ

	A	1	2	3	4	B	1	2	3	4
いろいろな人と友人になりたい						必要な人とつきあいたい				
人の意見を聞いて行動する						自分で考えて行動する				
困った時は人に相談する						困った時は自分で解決する				

人との関わり方、職業観について本人の心情を把握します。質問項目を追加することは可能

得意な力については、選択肢を変更することはできませんが、記述を変えることは可能  
 （例：□先生の話をしっかり聞く力⇒□先生の指示を的確に把握する力）

自己認知評価（\*）

【将来就きたい仕事について】  
 A  
 幅広くたくさんの方に挑戦したい  
 B  
 一つの事を極めたい  
 毎日いろいろな人と接する仕事  
 毎日接する人が少ない仕事  
 能力を十分にいかせる仕事  
 能力をいかさずには過ごさない仕事  
 2 自分をもっとも得意と感じる力について、次の3つの中から1つを選んでください。  
 □先生の話をしっかり聞く力 □課題や提出物等をやりとげる力 □発言や発表、企画・立案をする力  
 3 卒業後の進路について、希望する進路を選んでください。  
 □進学 □就職 □未定 □その他の進路（ ）

長期的目標

選択肢を追加することは可能  
 （例：□進学⇒□国立大学 □私立大学 □専門学校  
 □就職⇒□就職 □アルバイト）

関係機関との連携

II 地域との関わりについて（保護者の方が記入してください）  
 1 小中学校時代の地域等との関わりについて（複数回答可）  
 □教育関係（地域のスポーツクラブや学習塾等）  
 □地域関係（子ども会や他の団体等）  
 □福祉関係（地域の福祉機関やボランティア団体等）  
 □医療関係（かかりつけの医療機関等）  
 関係機関で活動されていたのが書いてください。

選択肢の説明文（カッコ内の文章）を変更することは可能

保護者のニーズ

III 安全で安心な高校生活を過ごすために（保護者の方が記入してください）  
 1 高校生活で不安を感じる事（複数回答可）  
 □成績 □進級 □卒業 □進路 □友人関係 □コミュニケーション □いじめ  
 □通学 □遅刻 □欠席 □忘れ物 □提出物 □生活指導面  
 □その他（ ）  
 2 これまでの学校生活で、不安を感じた事や通学しにくくなるような出来事について書いてください。  
 3 入学後、スクールカウンセラーによるカウンセリングを希望しますか。 □はい □特にない

選択肢を追加、変更することは可能  
 （例：□言語）

障がい等の有無

4 学校生活面で配慮を希望することがありますか。  
 5 学習面で教員に配慮を希望することがありますか。  
 6 障がい等で支援を希望することがありますか。  
 □すでに個別的教育支援計画を持っている

選択肢を追加、変更することは可能  
 （例：□座席 □制服）

支援の内容

配慮の内容（□トイレ □食事 □更衣 □友人との関係 □服装等のこだわり □その他）  
 \*さしつかえがなければ、具体的にどのような支援が必要か記入してください。

得意・評価（\*）

7 本人が得意な事（自慢できる事）や評価してほしいところについて書いてください。

\*得意・評価の欄の3つの観点については、冊子「高校で学ぶ発達障がいのある生徒のための共感からはじまる『わかる』授業づくり」の理論編P21～P23、資料編P95～P107をもとに設定しています。

\* ○印は、高校版 個別的教育支援計画に必要な項目



高校生活支援カード

1年組 2年組 3年組

生徒名 花咲 麻紀

出身中学校 大阪府立大阪城中学校

保護者名 花咲 剛

記載日 平成26年3月28日

I 将来の目標等について（生徒本人が記入してください）\*該当する口に✓をつけてください。

1 人との関わり方・働き方について（生徒本人が記入してください）

次のAとBのうち、大切にしたい方の数字に○をつけましょう。どちらが正しいということはありません。自分の気持ちに正直に選択してください。

【人との関わり方】

A  
いろいろな人と友人になりたい

1	2	3	4
1	2	3	4
1	2	3	4

人の意見を聞いて行動する

困った時は人に相談する

B  
必要な人とつきあいたい

自分で考えて行動する

困った時は自分で解決する

【数字について】

1 2 3 4  
... ..  
つ や や つ つ  
よ や や よ よ  
く A の B の  
A の 項目と 項目と  
の 項目と 項目と  
項目と 項目と  
思う 思う

【将来就きたい仕事について】

A  
幅広くたくさんの方に挑戦したい

1	2	3	4
1	2	3	4
1	2	3	4

毎日いろいろな人と接する仕事

能力を十分にいかせる仕事

B  
一つの事を極めたい

毎日接する人が決まっている仕事

能力をいかせるかにはこだわらない

2 自分がかもっと得意と感じる力について、次の3つの中から1つ選んでください。

先生の話をかきちんと聞く力  課題や提出物等をやりとげる力  発言や発表、企画・立案をする力

3 卒業後の進路について、希望する進路を選んでください。

進学  就職  未定  その他の進路 ( )

II 地域との関わりについて（保護者の方が記入してください）\*該当する口に✓をつけてください。

1 小中学校時代の地域等との関わりについて（複数回答可）

- 教育関係（地域のスポーツクラブや学習塾等）
- 地域関係（子ども会や他の団体等）
- 福祉関係（地域の福祉機関やボランティア団体等）
- 医療関係（かかりつけの医療機関等）

\*さしつかえがなければ、具体的にどのような団体や機関で活動されていたのか書いてください。  
中学校まで地元のスィミングスクールと塾に通っていた。  
○塾には今も通っている。小学校の時は、子供会に入って地元の祭りに参加していた。

III 安全で安心な高校生活を過ごすために（保護者の方が記入してください）

1 高校生活で不安を感じる事（複数回答可）

- 成績  進級  卒業  進路  友人関係  コミュニケーション  いじめ
- 通学  遅刻  欠席  忘れ物  提出物  生活指導面
- その他 ( )

2 これまでの学校生活で、不安を感じた事や通学しにくくなるような出来事はありましたか。

はい  特にない

3 入学後、スクールカウンセラーによるカウンセリングを希望しますか。

はい  特にない

4 学校生活面で配慮を希望することがありますか。

はい  特にない

5 学習面で教員に配慮を希望することがありますか。

はい  特にない

6 障がい等で支援を希望することがありますか。

はい  特にない

すでに個別の教育支援計画を持っている

配慮の内容（ トイレ  食事  更衣  友人との関係  服装等のこだわり  その他）

\*さしつかえがなければ、具体的にどのような支援が必要か記入してください。  
小学校5年生の時に、算数だけ支援学級で学んだことがある。その時に医者からアスペルガー症候群の診断を受けた。高校では欠点があると進級できないと聞いている。数学がにがてなので、勉強についていけるか不安がある。

7 本人が得意な事（自慢できる事）や評価してほしいところについて書いてください。

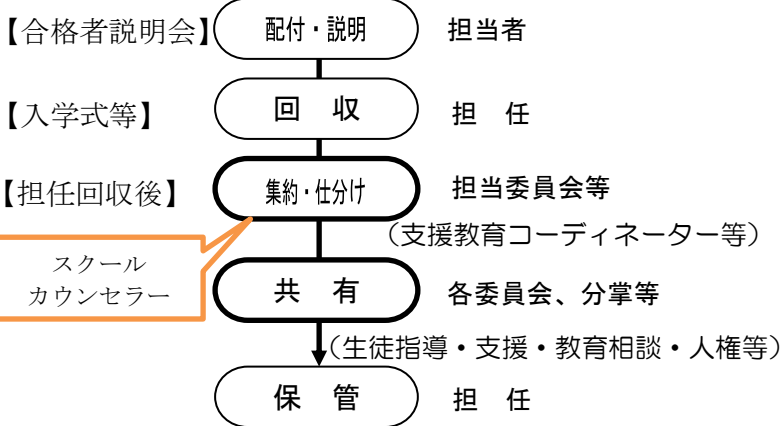
困っている友達を助けたり、クラスの役割をすすんでするところ。

## STEP 2

# 高校生活支援カードの活用

～ これまでの学びと育ちの引継ぎと支援 ～

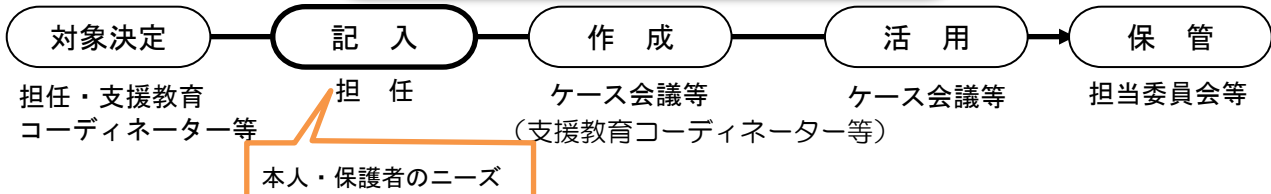
### 配付から保管までの流れ



### カードの活用例

- ① 中学校訪問
- ② 保護者面談
- ③ ケース会議
- ④ 教育相談
- ⑤ 学年会議
- ⑥ 学習支援
- ⑦ 事象等対応
- ⑧ 進路指導（障がい受容等）
- ⑨ 個別の教育支援計画作成

### 高校版 個別の教育支援計画の作成



### 高校生活支援カードモデル校での「3つの成果」

I 生徒、保護者、地域の状況把握 II 保護者、教員の意識改革 III 生徒、保護者、教員への支援

#### 状況の把握

##### 高校生活支援カード

- I 将来の目標等について  
【生徒が記入】
- II 地域との関わりについて
- III 安全で安心な高校生活を過ごすために
  - ・ 学校生活への不安
  - ・ 配慮や支援の内容
  - ・ 障がい等について
  - ・ 評価の要望
 【保護者が記入】

#### これまでの学校生活での生徒の状況や生徒への支援、配慮等

- ① 発達障がい等
- ② 対人関係の課題等
- ③ 学校生活における配慮
- ④ いじめ
- ⑤ 不登校
- ⑥ 帰国、渡日、外国籍等
- ⑦ セクシュアルマイノリティ
- ⑧ 虐待・DV等
- ⑨ 学習面でのつまずき

#### 気づき・連携

##### 具体的な支援等

- ・ 中学校等から学校での支援や配慮の引継ぎ
- ・ 保護者面談でニーズの聞き取り
- ・ 関係機関等から支援の引継ぎ

##### 研修依頼・相談等

- ・ スクールカウンセラー
- ・ 支援教育サポート校
- ・ 支援学校リーディングスタッフ

##### 研修等

- ・ 府立高校における支援教育推進フォーラム
- ・ 安全で安心な学校づくり推進事業  
学区別研修会  
テーマ別研修会

#### 参考冊子、資料等（大阪府作成）

- ・ 教職員人権研修ハンドブック【全般】
- ・ COMPASSシリーズ【全般】
- ・ 明日からの支援に向けて【①②③】
- ・ 共感からはじまる「わかる」授業づくり【①②⑨】
- ・ いじめ対応プログラムⅠ、Ⅱ【②④】
- ・ 中退の未然防止のために【③⑤】
- ・ 帰国・渡日生徒の日本語指導に向けた受け入れマニュアル【⑥】
- ・ 本名指導の手引【⑥】
- ・ 教職員向けDV被害者対応マニュアル【⑧】
- ・ 子どもたちの輝く未来のために【⑧】

## 高校版 個別の教育支援計画の作成

高校版 個別の教育支援計画は、高校生活支援カードの記載内容（項目Ⅰ2、3、Ⅱ1、Ⅲ1、4、5、6、7）から作成をはじめることができます。学校が障がい等により、支援や配慮を必要であると判断した生徒に対して作成をします。なお、既に学校独自の様式がある場合は、変更の必要はありません。また、作成にあたっては保護者、本人の署名が必要となります。

「個別の教育支援計画」についての  
個人情報の収集・管理に関する規定・承諾書

本校は、個人情報保護の趣旨に則り、「個別の教育支援計画」（以下「本計画書」といいます）に関し、個人情報の管理を以下のとおり行います。

- 個人情報の収集については、本計画書の作成・充実とより良い支援のために、必要な範囲の情報を適切な方法により収集します。
- 本計画書は、本校在学中は学校で保管・管理をします。本人（保護者）より申し出があれば写しをお返しします。
- 個人情報の内容確認・訂正・削除については、必要に応じて適切な対応を学校が行います。
- 在学中、必要な関係機関に情報を提供する場合は、本人（保護者）の承諾のもと、本人（保護者）に必要な情報を託して行います。
- 卒業等の時点で、本計画書は本人（保護者）へ返却します。なお写しは卒業後5年間、学校で保管し、その後責任をもって廃棄します。
- 卒業時（卒業後）、進路先の求めがあった場合も、4と同様に、本人（保護者）の承諾のもと、本人（保護者）を通じて必要な個人情報の提供をします。
- 関係機関に情報を提供した場合は、本計画書に「個別の教育支援計画発行申請書」を添付することで記録していきます。

大阪府立 高等学校長

個別の教育支援計画への個人情報記載を了承し、上記1～7の項目を承諾します。

平成 年 月 日  
本人 \_\_\_\_\_  
保護者名 \_\_\_\_\_

大阪府立高等学校  
**個別の教育支援計画**  
大阪府立〇〇高等学校

入学年度 \_\_\_\_\_ 年

生徒名 \_\_\_\_\_

クラス・担任 \_\_\_\_\_ 年 組 ・ \_\_\_\_\_ 年 組 ・ \_\_\_\_\_ 年 組 ・

表面

大阪府立高等学校 個別の教育支援計画  
大阪府立〇〇高等学校 入学年度 平成〇〇年

生徒名	性別	生年月日	
保護者名		記載日	
住所	電話番号		
連絡先			
記入者			
出身中学校等	○担当者（ _____ ）		
生徒の状況 (障がいの状況や手帳の有無、診断名等)			
関係機関との連携協力・支援ネットワーク等	<input type="checkbox"/> 教育関係（地域のスポーツクラブや学習塾等） <input type="checkbox"/> 地域関係（子供会や他の団体等） <input type="checkbox"/> 福祉関係（地域の福祉機関やボランティア団体等） <input type="checkbox"/> 医療関係（かかりつけの医療機関等） 機関名、担当、連携、支援内容		
卒業後の希望	<input type="checkbox"/> 進学（ _____ ） <input type="checkbox"/> 就職（ _____ ） <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他の進路（ _____ ）		
	備考 _____		

活かしたい観点 (Ⅰ2)	1年	2年	3年	
	<input type="checkbox"/> 先生の話をきちんと聴く力 <input type="checkbox"/> 課題や提出物等をやりとげる力 <input type="checkbox"/> もっとも得意な観点にチェックを入れる	<input type="checkbox"/> 認知的な観点 <input type="checkbox"/> 作業的な観点	<input type="checkbox"/> 認知的な観点 <input type="checkbox"/> 作業的な観点	<input type="checkbox"/> 認知的な観点 <input type="checkbox"/> 作業的な観点
余暇の過ごし方 興味・関心 部活動等				
支援の目標	1年			
	2年			
	3年			
支援の内容	1年	<input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> 食事 <input type="checkbox"/> 更衣 <input type="checkbox"/> 友人との関係 <input type="checkbox"/> 服装等のこだわり <input type="checkbox"/> 定期考査 <input type="checkbox"/> その他		
	2年	<input type="checkbox"/> 定期考査等での配慮		
	3年	<input type="checkbox"/> 定期考査等での配慮		
評価 (支援の目標に対する評価)	評価の時期（平成 年 月 日）			

裏面

個人情報の収集・管理に関する規定・承諾書

保護者署名欄

障がいの状況  
(Ⅲ 6, 7)

関係機関との連携  
(Ⅱ 1)

卒業後の希望  
(Ⅰ 3)

活かしたい観点  
(Ⅰ 2)

支援の内容  
(Ⅲ 1, 4, 5, 6)